

## 第4回非医療従事者に対するAED普及啓発 シンポジウム（福岡会場）開催の結果報告と御礼

平成25年3月2日（土曜日）に開催いたしました「第4回非医療従事者に対するAED普及啓発シンポジウム（福岡会場）」は、会場がほぼいっぱいになるほどのご参加（参加者数181名）をいただき、成功裡に終わりましたことをご報告申し上げますとともに御礼申し上げます。

朝の10時から夕方16時30分までの長時間にわたるシンポジウムにもかかわらず、参加者は各講師の先生方からの講演を熱心に聞きメモを取られる姿が多く見られました。また、午前の第一部のシンポジウム1、午後の第二部のシンポジウム2及び第三部のシンポジウム3の各パネルディスカッションの際には、参加者から熱心な質問を多数いただき、大変な盛り上がりを見せました。

第一部では、「AEDを含めた心肺蘇生教育を学校内で普及するために」を主題として、文部科学省スポーツ・青少年局学校健康教育課、さいたま市教育委員会、日本赤十字社等それぞれの立場で、全国での学校でのAED普及の取り組み、学校におけるAED普及プログラムのあり方、突然死事例の教訓を生かした取り組み等報告願ひ活発な議論が行われました。第二部では、「AEDを含めた心肺蘇生のさらなる普及の戦略」を主題として、AEDの教育普及に関するWG会議からの提案、蘇生ガイドライン2010 EIT何がどこまで達成されているのか、福岡市消防局における口頭指導とその効果等について報告願ひ活発な議論が行われました。また、第三部では、この間財団で行われているAEDに関連する3つのWGの検討内容等の報告が行われ、これに対して参加者を含め活発な議論が行われました。

今回の「第4回非医療従事者に対するAED普及啓発シンポジウム（福岡会場）」での活発な議論を通して明らかになった諸課題に対し、今後その解決に向けて検討の場を設け、さらなる努力を進めてまいります。

「非医療従事者に対するAED普及啓発シンポジウム」事業は、日本損害保険協会の自賠責運用益拠出事業として実施されています。今後とも、拠出の趣旨をふまえ、全国のより多くの皆様に普及啓発を図れるよう努力してまいります。

まずは、ご参加いただきました皆様と、シンポジウム開催に向けご協力いただきました関係者の皆様に御礼申し上げるとともに、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

一般財団法人日本救急医療財団  
理事長 島 崎 修 次